

## 中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

## 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)								
01	<p><b>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</b></p> <p>・MRI、CT等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を行い、第2期中期計画期間中(平成31年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p> <p><b>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</b></p> <p>・より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、または認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p> <p>○平成27年度 受講予定 認定看護師2人、認定看護管理4名(ファーストレベル4人) 岐阜県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻(専門看護師コース)1人 岐阜県専任教員養成講習会1人 ○平成27年度 資格試験予定 認定看護師2人</p> <p><b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b></p> <p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>・希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支</p>	<p><b>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</b></p> <p>・高額の機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。</p> <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)</td> <td>小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用</td> </tr> <tr> <td>全身用コンピューター断層装置(CT装置)</td> <td>小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置</td> <td>循環器内科領域において使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3千万円以上の高額機器</p> <p><b>4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</b></p> <p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。その結果、認定看護師等資格取得者や学会等への参加者が増加した。</p> <p>○認定看護師等資格取得状況 単位：人</p>	機器名等	整備目的・用途等	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用	全身用コンピューター断層装置(CT装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用	心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用	IV		高度医療の提供や医療従事者の育成・研修について努力していることが伺える。
機器名等	整備目的・用途等												
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用												
全身用コンピューター断層装置(CT装置)	小児患者や重症心身障がい児の診療に必要な検査に使用												
心臓血管撮影装置	循環器内科領域において使用												

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																								
	援を行う。 <b>【中央放射線部】</b> ・医学物理士 ・救急撮影認定技師 ・MR 専門技術者 ・放射線治療品質管理士 ・検査マンモグラフィー 診療放射線技師 ・診療放射線技師実習指導者講習会 ・PET サマーセミナー ・血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 ・その他各種学会、研修会等への参加 <b>【臨床検査科】</b> ・細菌検査士 ・超音波検査士 (循環器、消化器等) ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師 (微生物学、病理学等) ・その他各種学会、研修会等への参加 <b>【薬剤センター】</b> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・小児薬物療法認定薬剤師 ・緩和薬物療法認定薬剤師 ・その他各種学会、研修会等への参加 <b>【中央リハビリテーション部】</b> ・がんのリハビリテーション研修 ・3 学会合同呼吸療法認定士	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定 がん化学療法</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>慢性心不全</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>専門 小児看護</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>19</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td> <b>【長期】</b>            ・緩和ケア              H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人            ・慢性心不全看護              H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人            ・認定看護管理者(サード)              H26. 9. 1～H26. 11. 19 1 人              (※H27 資格取得)  <b>【短期】</b>            ・認定看護管理制度              H26:6 人→H27:1 人            ・実習指導者講習会              H26:1 人→H27:2 人            ・医療安全研修              H26:2 人→H27:1 人            ・岐阜県教員養成講習会              H26:0 人→H27:1 人         </td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	認定 がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	2	3	3	救急看護	1	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	1	1	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	-	1	1	認定看護管理者	1	1	2	慢性心不全	-	-	1	緩和ケア	-	-	1	計	16	19	22	専門 小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合 計	19	22	25	項目	内 容	認定看護師	<b>【長期】</b> ・緩和ケア H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人 ・慢性心不全看護 H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人 ・認定看護管理者(サード) H26. 9. 1～H26. 11. 19 1 人 (※H27 資格取得) <b>【短期】</b> ・認定看護管理制度 H26:6 人→H27:1 人 ・実習指導者講習会 H26:1 人→H27:2 人 ・医療安全研修 H26:2 人→H27:1 人 ・岐阜県教員養成講習会 H26:0 人→H27:1 人			
項目/年度	H25	H26	H27																																																																																										
認定 がん化学療法	2	2	2																																																																																										
がん性疼痛	1	1	1																																																																																										
感染管理	2	3	3																																																																																										
救急看護	1	2	2																																																																																										
小児救急	1	1	1																																																																																										
摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																										
皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																										
新生児集中ケア	1	1	1																																																																																										
集中ケア	1	1	1																																																																																										
糖尿病看護	1	1	1																																																																																										
がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																										
乳がん看護	-	1	1																																																																																										
認定看護管理者	1	1	2																																																																																										
慢性心不全	-	-	1																																																																																										
緩和ケア	-	-	1																																																																																										
計	16	19	22																																																																																										
専門 小児看護	2	2	2																																																																																										
がん看護	1	1	1																																																																																										
計	3	3	3																																																																																										
合 計	19	22	25																																																																																										
項目	内 容																																																																																												
認定看護師	<b>【長期】</b> ・緩和ケア H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人 ・慢性心不全看護 H26. 10. 1～H27. 3. 31 1 人 ・認定看護管理者(サード) H26. 9. 1～H26. 11. 19 1 人 (※H27 資格取得) <b>【短期】</b> ・認定看護管理制度 H26:6 人→H27:1 人 ・実習指導者講習会 H26:1 人→H27:2 人 ・医療安全研修 H26:2 人→H27:1 人 ・岐阜県教員養成講習会 H26:0 人→H27:1 人																																																																																												

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓リハビリテーション指導士</li> <li>・AHA BLS ICLSプロバイダ</li> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</li> <li>・認定作業療法士</li> <li>・認定ハンドセラピスト</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>	学会等参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護学会</li> <li>・全国看護セミナー</li> <li>・日本看護協会研修</li> <li>・岐阜県看護協会研修</li> <li>・その他 看護学会等</li> </ul> 延べH26:585人→H27:602人			
	<b>【栄養センター】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士</li> <li>・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士</li> <li>・病態栄養認定管理栄養士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>	<b>5 コメディカルに対する専門研修の実施</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。特に、各コメディカルでは、医療法や施設基準等で定めた診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</li> <li>○主な専門研修・講習会等</li> </ul>			
	<b>【臨床工学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器安全管理責任者研修会</li> <li>・透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>・3学会合同呼吸療法認定士</li> <li>・体外循環技術認定士</li> <li>・透析技術認定士</li> <li>・その他各種学会、研修会等への参加</li> </ul>	<b>【中央放射線部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本放射線技術学会</li> <li>・全国自治体病院放射線部会研修会</li> <li>・日本放射線治療セミナー</li> <li>・日本核医学学会総会</li> <li>・日本磁気共鳴医学会</li> <li>・医学物理士ミニマム講習会</li> </ul> ※H27 年度資格取得者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・X線CT認定技師2人</li> </ul>			
		<b>【臨床検査科】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本超音波学会</li> <li>・心臓リハビリテーション学会</li> <li>・日本臨床微生物学会</li> <li>・認定心電図検査技師講習会</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会</li> <li>・日本心エコー図学会</li> </ul> ※H27 年度資格取得者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓リハビリテーション指導士1人</li> <li>・超音波検査士 (体表) 1人</li> <li>・超音波検査士 (循環器領域) 1人</li> <li>・認定輸血検査技師1人</li> <li>・認定臨床微生物検査技師1人</li> <li>・2級臨床検査士 (微生物) 2人</li> <li>・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者8人</li> </ul>			

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		<p>【薬剤センター】 (医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全自病 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント)</li> <li>・全自病 薬剤管理研修会</li> </ul> <p>(薬剤業務全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日病薬 新任薬剤師研修会</li> <li>・日本医療薬学会年会</li> <li>・日本薬剤師会学術大会</li> <li>・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・日薬東海薬剤師学術大会</li> <li>・実務実習指導薬剤師ワークショップ</li> <li>・日本麻酔科学会 周術期セミナー</li> <li>・日薬病院診療所薬剤師研修会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> </ul> <p>※H27 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士 1 人</li> </ul>			
		<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会</li> <li>・日本高次脳障害学会夏期教育研修</li> <li>・岐阜呼吸管理研究会</li> <li>・摂食・嚥下障害セミナー</li> </ul> <p>※H27 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸療法認定士 4 人</li> </ul>			
		<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床栄養学会</li> <li>・自治体病院栄養部会研修会</li> <li>・日本心臓リハビリ学会東海支部地方会</li> <li>・日本病院会栄養管理セミナー</li> <li>・日本静脈経腸栄養学会</li> <li>・日本病態栄養学会年次学術集会</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会</li> </ul> <p>※H27 年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本糖尿病療養指導士 1 人</li> </ul>			
		<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床工学技士会</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会セミナー</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会学術大会</li> <li>・医療機器安全基礎講習会 (ME 技術講習会)</li> <li>・透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>・日本人工臓器学会教育セミナー</li> </ul>			

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																
		※H27 年度資格取得者 ・ホスピタルエンジニア 1 人  ○専門研修への参加状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>207</td> <td>198</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>100</td> <td>117</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>22</td> <td>40</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>69</td> <td>59</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>30</td> <td>85</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>438</td> <td>510</td> <td>547</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	薬剤師	207	198	214	臨床検査技師	100	117	146	臨床工学技士	22	40	23	リハビリ技師	69	59	58	管理栄養士	10	11	12	放射線技師	30	85	94	合計	438	510	547			
項目/年度	H25	H26	H27																																		
薬剤師	207	198	214																																		
臨床検査技師	100	117	146																																		
臨床工学技士	22	40	23																																		
リハビリ技師	69	59	58																																		
管理栄養士	10	11	12																																		
放射線技師	30	85	94																																		
合計	438	510	547																																		
02	<b>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間を短縮できるよう検討を行う。</li> <li>・診察の待ち時間の短縮を図るため、各診療科の診察枠の見直しや診療単価等の分析による患者構成を把握することで病状等に即した医療機能の分化を推進する。</li> <li>・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。</li> <li>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</li> <li>・中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。</li> <li>・臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。</li> <li>・継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。</li> <li>・継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施する</li> </ul>	<b>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</b> <外来部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図った。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施</li> <li>・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施</li> <li>・入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化</li> <li>・病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</li> <li>・診療科に即したシフレットや図書を配置</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者満足度調査等による待ち時間の把握 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数の増加に伴い平均待ち時間が微増したものの、30分以内の待ち時間患者が増加、全体として待ち時間の短縮が進んだ。</li> </ul> ○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>24</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table> ※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間	H25	H26	H27	25	24	28	IV		手術室の稼働率、件数ともに高く、待ち時間の短縮等に努力がみられ、評価できる。																										
H25	H26	H27																																			
25	24	28																																			

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
	<p>ことで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。</p>	<p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月／待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26.1</td> <td>35.6</td> <td>56.4</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H27.1</td> <td>35.0</td> <td>56.4</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;手術部門&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図った。</li> <li>・麻酔科医の増員により手術室の稼働率を上げ、手術待ち時間の短縮を図った。</li> </ul> <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(単位：％)</td> <td>61.2</td> <td>66.8</td> <td>68.7</td> </tr> <tr> <td>件数(単位：件)</td> <td>6,506</td> <td>6,992</td> <td>7,324</td> </tr> </tbody> </table>	年月／待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H26.1	35.6	56.4	8.0	H27.1	35.0	56.4	8.6	H28.1	41.2	49.2	9.6	項目／年度	H25	H26	H27	稼働率(単位：％)	61.2	66.8	68.7	件数(単位：件)	6,506	6,992	7,324			
年月／待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																														
H26.1	35.6	56.4	8.0																														
H27.1	35.0	56.4	8.6																														
H28.1	41.2	49.2	9.6																														
項目／年度	H25	H26	H27																														
稼働率(単位：％)	61.2	66.8	68.7																														
件数(単位：件)	6,506	6,992	7,324																														
05	<p><b>1 救命救急センター(救命救急医療)</b> 岐阜地域の中核病院の救命救急センターとして、救命救急センター運営マニュアルに基づき、循環器系疾患、外傷を始め、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含めすべての救命救急疾患(精神科疾患を除く。)に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センター機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p> <p><b>3 母と子ども医療センター(周産期医療)</b> 産婦人科系関係各診療科・総合周産期部と新生児医療センター(新生児内科)を基幹として、各科の枠を超えた母と子どもの総合的な高度医療を提供する。 新生児医療センターでは専用のドクターカー(すこやか号)により、他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発育を目指す。また、各センター等の充実を図ることで、より高度なチーム医療を目指す。 県下全域に影響が危惧される事案が発生した場合</p>	<p><b>1 救命救急センター(救命救急医療)</b> ○救急車受入状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>5,271</td> <td>5,963</td> <td>6,104</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>14.4</td> <td>16.3</td> <td>16.7</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 母と子ども医療センター(周産期医療)</b> ・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。 ・当院を受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間態勢での受け入れを行った。</p> <p>○母体搬送の受入件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>127(7)</td> <td>142(5)</td> <td>111(9)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )はヘリコプター搬送《内数》</p>	項目／年度	H25	H26	H27	救急車受入件数	5,271	5,963	6,104	一日平均件数	14.4	16.3	16.7	項目／年度	H25	H26	H27	母体搬送	127(7)	142(5)	111(9)	救急搬送	11	21	23	IV	救急車受入件数が増加しており、周産期医療等でも役割を果たしている。					
項目／年度	H25	H26	H27																														
救急車受入件数	5,271	5,963	6,104																														
一日平均件数	14.4	16.3	16.7																														
項目／年度	H25	H26	H27																														
母体搬送	127(7)	142(5)	111(9)																														
救急搬送	11	21	23																														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																																																
	<p>には、県及び岐阜県周産期医療協議会等へ報告するとともに連携し協力体制を整える。</p>	<p>○産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>115</td> <td>112</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>PIH</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>39</td> <td>33</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>IUGR</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>38</td> <td>13</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠糖尿病</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>31</td> <td>11</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>33</td> <td>9</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>287</td> <td>276</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>77</td> <td>58</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>131</td> <td>158</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> <p>○保健指導実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>978</td> <td>809</td> <td>1,024</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>254</td> <td>169</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H25	H26	H27	早産	115	112	82	PIH	44	48	43	常位胎盤・早期剥離	9	8	10	胎盤位置異常	39	30	18	羊水の異常	14	10	6	胎児異常	39	33	36	IUGR	13	9	10	項目／年度	H25	H26	H27	婦人科系疾患	38	13	69	心・血管疾患	23	21	60	血液疾患	1	2	3	腎疾患	10	4	3	糖尿病・妊娠糖尿病	28	20	26	甲状腺疾患	26	12	27	自己免疫・膠原病	8	4	2	呼吸器疾患	31	11	32	消化器疾患	18	4	5	精神・神経系	33	9	20	運動機能系	3	0	0	項目／年度	H25	H26	H27	総合周産期加算	287	276	230	ハイリスク妊娠	77	58	25	ハイリスク分娩	32	21	18	救急加算	131	158	123	項目／年度	H25	H26	H27	保健指導	978	809	1,024	母乳相談	254	169	140			
項目／年度	H25	H26	H27																																																																																																																		
早産	115	112	82																																																																																																																		
PIH	44	48	43																																																																																																																		
常位胎盤・早期剥離	9	8	10																																																																																																																		
胎盤位置異常	39	30	18																																																																																																																		
羊水の異常	14	10	6																																																																																																																		
胎児異常	39	33	36																																																																																																																		
IUGR	13	9	10																																																																																																																		
項目／年度	H25	H26	H27																																																																																																																		
婦人科系疾患	38	13	69																																																																																																																		
心・血管疾患	23	21	60																																																																																																																		
血液疾患	1	2	3																																																																																																																		
腎疾患	10	4	3																																																																																																																		
糖尿病・妊娠糖尿病	28	20	26																																																																																																																		
甲状腺疾患	26	12	27																																																																																																																		
自己免疫・膠原病	8	4	2																																																																																																																		
呼吸器疾患	31	11	32																																																																																																																		
消化器疾患	18	4	5																																																																																																																		
精神・神経系	33	9	20																																																																																																																		
運動機能系	3	0	0																																																																																																																		
項目／年度	H25	H26	H27																																																																																																																		
総合周産期加算	287	276	230																																																																																																																		
ハイリスク妊娠	77	58	25																																																																																																																		
ハイリスク分娩	32	21	18																																																																																																																		
救急加算	131	158	123																																																																																																																		
項目／年度	H25	H26	H27																																																																																																																		
保健指導	978	809	1,024																																																																																																																		
母乳相談	254	169	140																																																																																																																		

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																												
		<p>&lt;新生児医療センターの運営&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MRSA 感染対策として、保育器・コットの間隔を 1.2m以上あげ、MRSA 患者・職員のコホートをを行い、入院患者のコントロールを実施した。</li> <li>・院内出生の入院患者が減少したため、入院総患者数は減少したものの、超低出生体重児の入院数は増加した。</li> <li>・新生児手術について、小児脳神経外科、小児外科の手術件数は減少し、気管切開術は無かった。</li> </ul> <p>○出生、母体搬送件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>181</td> <td>177</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>112</td> <td>62</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>82</td> <td>88</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>47</td> <td>45</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新生児手術状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H25	H26	H27	院内出生	181	177	136	院外出生	112	62	63	母体搬送	82	88	62	超低出生体重児	15	23	27	極低出生体重児	47	45	39	項目／年度	H25	H26	H27	小児心臓外科	8	8	9	小児脳神経外科	11	6	7	小児外科	24	18	14	耳鼻科(気管切開)	3	2	0			
項目／年度	H25	H26	H27																																														
院内出生	181	177	136																																														
院外出生	112	62	63																																														
母体搬送	82	88	62																																														
超低出生体重児	15	23	27																																														
極低出生体重児	47	45	39																																														
項目／年度	H25	H26	H27																																														
小児心臓外科	8	8	9																																														
小児脳神経外科	11	6	7																																														
小児外科	24	18	14																																														
耳鼻科(気管切開)	3	2	0																																														
09	<p><b>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</b></p> <p>県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生、コメディカルを目指す学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。</p> <p>なお、薬学部学生については、薬学教育協議会による病院・薬局実務実習東海地区調整機構を通じて、当センターの定員である 18 人の実務実習の受入れを行う。</p>	<p><b>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と比較し、看護学生・コメディカルを目指す学生の受け入れは減少したが、医学生の受け入れ人数は増加した。</li> </ul> <p>○医学生、看護学生の実習等受入状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生 (病院見学)</td> <td>95</td> <td>102</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>看護学生 (実習)</td> <td>10,984</td> <td>10,217</td> <td>9,475</td> </tr> </tbody> </table> <p>○コメディカルの実習受入状況 (実人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コメディカル (内 薬剤師)</td> <td>82 (17)</td> <td>81 (18)</td> <td>74 (18)</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H25	H26	H27	医学生 (病院見学)	95	102	107	看護学生 (実習)	10,984	10,217	9,475	項目／年度	H25	H26	H27	コメディカル (内 薬剤師)	82 (17)	81 (18)	74 (18)	III		<p>実習等の受入れについて、IVを目指した積極的な取組に期待する。</p>																								
項目／年度	H25	H26	H27																																														
医学生 (病院見学)	95	102	107																																														
看護学生 (実習)	10,984	10,217	9,475																																														
項目／年度	H25	H26	H27																																														
コメディカル (内 薬剤師)	82 (17)	81 (18)	74 (18)																																														

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																						
	<p><b>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</b> 救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受け入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p>	<p><b>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</b> ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を積極的に実施した。</p> <p>○実習受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56</td> <td>62</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table>	H25	H26	H27	56	62	74																																																			
H25	H26	H27																																																									
56	62	74																																																									
10	<p><b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> へき地医療拠点病院として、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への人的支援を継続して実施する。</p> <p><b>3 へき地医療対策の支援</b> 岐阜県へき地医療支援機構との業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医及びへき地勤務医の研修科長、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p><b>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援</b> ・県立下呂温泉病院 (37 人)、高山赤十字病院 (2 人)、久美愛厚生病院 (1 人/月 2 回)、下呂市立金山病院 (1 人/月 1 回)、郡上市市民病院 (1 人/月 2 回、1 人/週 1 回) 等に対して、診療上の人的支援を行った。</p> <p>○他の医療機関への人的支援の状況 (延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>591</td> <td>604</td> <td>609</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>288</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>225</td> <td>244</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>244</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>24</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>郡上市市民病院</td> <td>73</td> <td>109</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>54</td> <td>—</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>久美愛厚生病院</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,525</td> <td>1,004</td> <td>735</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 へき地医療対策の支援</b> ・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて医師派遣を行った。</p> <p>○へき地派遣実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>小児循環器内科 2 人</td> </tr> <tr> <td>下呂温泉病院</td> <td>小児科 2 人、内科系 26 人</td> </tr> <tr> <td>久美愛病院</td> <td>小児科 1 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	県立下呂温泉病院	591	604	609	高山赤十字病院	288	11	12	揖斐厚生病院	225	244	1	下呂市立金山病院	12	12	12	木沢記念病院	244	—	—	東白川診療所	24	—	—	久々野診療所	—	—	9	郡上市市民病院	73	109	67	中濃厚生病院	54	—	2	久美愛厚生病院	14	24	23	合計	1,525	1,004	735	高山赤十字病院	小児循環器内科 2 人	下呂温泉病院	小児科 2 人、内科系 26 人	久美愛病院	小児科 1 人	IV	<p>評価の検討 IV→III 概ね年度計画どおり実施されているものの、高山地区への支援が少なくなってきた。 IVのまま 年度計画を上回って達成している。</p>	<p>「III」 概ね年度計画どおり実施されているものの、高山地区への支援が少なくなってきた。</p>
項目/年度	H25	H26	H27																																																								
県立下呂温泉病院	591	604	609																																																								
高山赤十字病院	288	11	12																																																								
揖斐厚生病院	225	244	1																																																								
下呂市立金山病院	12	12	12																																																								
木沢記念病院	244	—	—																																																								
東白川診療所	24	—	—																																																								
久々野診療所	—	—	9																																																								
郡上市市民病院	73	109	67																																																								
中濃厚生病院	54	—	2																																																								
久美愛厚生病院	14	24	23																																																								
合計	1,525	1,004	735																																																								
高山赤十字病院	小児循環器内科 2 人																																																										
下呂温泉病院	小児科 2 人、内科系 26 人																																																										
久美愛病院	小児科 1 人																																																										

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることで医師不足の解消を図ることを目的する「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加した。</li> </ul> <p>○後期研修医のへき地派遣状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名・年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	機関名・年度	H25	H26	H27	県立下呂温泉病院	17	12	11			
機関名・年度	H25	H26	H27										
県立下呂温泉病院	17	12	11										
15	<p><b>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</b> 被災時における病院機能の損失をできるだけ少なくするため、機能回復を早急に行い、継続的に診療ができるよう診療継続計画を作成する。</p> <p><b>2 診療情報のバックアップシステムの構築</b> 平成27年度中に電子カルテサーバーの更新に併せて、診療情報の外部保管を実施するとともに、大規模災害時でも電子カルテが閲覧できるよう環境を整備する。</p>	<p><b>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療継続計画作成に当たっての課題について、事務局内で検討を行った。</li> <li>・被災時における診療継続のため、機器更新に併せて、電気、ガスの双方に対応できる超音波ジェット洗浄機及び高圧蒸気滅菌装置を中央材料室内に整備した。</li> </ul> <p><b>2 診療情報のバックアップシステムの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免震構造の本館に電算室を新設し、管理棟（耐震構造）の電算室との間で相互バックアップを実施するとともに、県立下呂温泉病院への遠隔地バックアップを実施した。</li> </ul>	IV		被災時に備えた体制の整備・構築は、県民の安心に直結する項目であるため、取組を評価する。 また、より安全なバックアップシステムの研究に期待する。								
17	<p><b>1 医療型障害児入所施設の運営</b> 入所施設の広報や施設見学等の施設利用児受入準備を行う。</p> <p><b>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</b> 入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、栄養士等の連携による療育及び機能訓練プログラムを作成する。また、訪問教育実施のための受入れ態勢の整備を行う。</p>	<p><b>1 医療型障害児入所施設の運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月、重症心身障がい児のための入所施設として、「重症心身障がい児施設 すこやか」を開設、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所を開始した。</li> <li>・長期入所の窓口である県子ども相談センターに対して周知を図るとともに、当センターのホームページに整備状況等を掲載し県民への周知を図った。また、開設に当たっては、関係機関宛に竣工式及びび内覧会の開催案内を配布し、事業の開始を周知した。</li> </ul> <p><b>2 受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練プログラムの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入れ重症心身障がい児に対する療育・機能訓練は、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、管理栄養士等の連携により、入所施設の各種機器・設備を活用した療育・機能訓練プログラムに基づき、実施している。</li> <li>・長良特別支援学校の訪問教育の実施に向けて連携を図り、施設利用・行事の実施について確認会議を実施するなど、受入れ態勢の整備を行った。</li> </ul>	III		今後、重症心身障がい児医療の中心的施設としての役割に期待する。								

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)
18	<p><b>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備、充実</b> 短期入所施設の広報や施設見学等の短期入所利用児受入準備を行う。</p> <p><b>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</b> 在宅移行に向けた家族への在宅医療指導を行い、障がい受容と養育の援助のための教育的入院を実施するための準備を行う。 また、在宅移行後も安心して地域での生活を送ることができるよう、地域の医療機関や福祉サービス事業者との連携を行う。</p> <p><b>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</b> 在宅移行後の容体悪化等に対する入院等の医療支援を実施するための準備を行う。</p>	<p><b>1 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実</b> ・短期入所（レスパイトケア）の窓口となる市町村及び県内の福祉サービス事業所宛てに案内を送付し、施設利用希望児の保護者等に対する周知を図るとともに、当センターのホームページに整備状況等を掲載した。また、開設準備として、上記関係機関向けの内覧会を開催し、施設機能に対する理解を深めることができた。</p> <p><b>2 家族に対する在宅医療指導等の実施</b> ・重症心身障がい児の在宅移行に向け、家族に対して障がいの受容や在宅療育等を指導する教育入所用の居室を整備した。また、在宅療育の窓口となる地域の福祉サービス事業者等に対し、施設の機能について理解を得るために一般内覧会を開催し、多くの参加を得た。</p> <p><b>3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援</b> ・在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診や当院での救急医療や入院治療等で対応することとしている。</p>	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>Ⅲ→Ⅱ</p> <p>年度計画を下回っており、在宅移行後の支援に関し、紹介医師との連携充実に期待する。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>年度計画を概ね達成している。 在宅移行後の支援に関し、紹介医師との連携充実に期待する。</p>	<p>「Ⅲ」</p> <p>年度計画を概ね達成している。 在宅移行後の支援に関し、紹介医師との連携充実に期待する。</p>
19	<p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> 新たなアウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用することで、質の高い業務執行を推進する。</p>	<p><b>3 アウトソーシング導入による合理化</b> ・庁舎管理部門（設備管理、清掃、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的機能を有する部門について、アウトソーシングを導入しており、特に情報システム関連業務、SPD 業務契約において、質・量の見直しを行い経費の節減に努めた。 ・診療材料について、価格交渉を継続して実施し、前年度の価格と常に比較</p> <p><b>4 経営効率の高い業務執行体制の確立</b> ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる看護師、診療放射線技師等を再雇用し、更なる充実を図った。</p>	Ⅲ	<p>経営分析等による経費節減や、非常勤職員の再雇用制度の活用など、効率的かつ質の高い業務に努めていることは評価できる。</p>	

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																
22	<p>医療法をはじめとする国の法令や関係規程、法人が定める倫理方針や各種規程を遵守し、職員に対し定期的な意識啓発を実施する。</p> <p>監事監査、内部監査、監査法人監査等の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスを確実なものとする。</p> <p>岐阜県情報公開条例に基づく公文書の公開及び岐阜県個人情報保護条例その他法人規程に基づくカルテ等医療情報の開示を着実にを行い、医療の透明性を確保するとともに、医療情報提供の環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。</li> <li>・平成 27 年 8 月、全職員を対象にした個人情報保護に関する研修を実施し、143 人が参加した。</li> </ul>	Ⅲ		今後一層の努力を期待する。																																																																
23	<p>新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修も新たに実施することにより、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するとともに、情報ネットワークのセキュリティ対策、USBメモリ等のデバイス制御、メールのウイルスチェックなど、情報セキュリティ強化対策を実施した。</li> </ul>	Ⅲ		今後一層の努力を期待する。																																																																
25	<p><b>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</b> 長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、あわせて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。</p> <p>また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。</p> <p><b>3 診療報酬改定に対応した各種施設基準への対応と取得</b> 平成 26 年度の診療報酬改定に的確に対応し、診療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など収入への影響が大きい加算については、その算定基準（要件）を維持する。</p> <p>総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率 50%以上、逆紹介率 70%以上</p>	<p><b>1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療機関等との連携として、共同指導や病床や設備の開放を行い病診連携を推進した。</li> <li>・登録医からの FAX による MRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。</li> </ul> <p>○FAX による検査予約実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,075</td> <td>1,130</td> <td>1,052</td> </tr> </tbody> </table> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H27/H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>329,128</td> <td>340,070</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,349</td> <td>1,399</td> <td>103.7%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,940</td> <td>5,449</td> <td>110.3%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>15,011</td> <td>16,023</td> <td>106.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">入院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>194,126</td> <td>189,315</td> <td>97.5%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>532</td> <td>517</td> <td>97.2%</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>14,687</td> <td>14,759</td> <td>100.5%</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>75,659</td> <td>77,948</td> <td>103.0%</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>12.2</td> <td>11.7</td> <td>95.9%</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>90.1</td> <td>87.7</td> <td>97.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	FAX 予約	1,075	1,130	1,052			H26	H27	H27/H26	外来	患者数	人	329,128	340,070	103.3%	平均患者数	人/日	1,349	1,399	103.7%	診療額	百万円	4,940	5,449	110.3%	診療単価	円/日	15,011	16,023	106.7%	入院	患者数	人	194,126	189,315	97.5%	平均患者数	人/日	532	517	97.2%	診療額	百万円	14,687	14,759	100.5%	診療単価	円/日	75,659	77,948	103.0%	在院日数	日	12.2	11.7	95.9%	病床利用率	%	90.1	87.7	97.3%	Ⅳ	病床管理、紹介率及び逆紹介率について、高い水準を維持しており、評価できる。
項目/年度	H25	H26	H27																																																																		
FAX 予約	1,075	1,130	1,052																																																																		
		H26	H27	H27/H26																																																																	
外来	患者数	人	329,128	340,070	103.3%																																																																
	平均患者数	人/日	1,349	1,399	103.7%																																																																
	診療額	百万円	4,940	5,449	110.3%																																																																
	診療単価	円/日	15,011	16,023	106.7%																																																																
入院	患者数	人	194,126	189,315	97.5%																																																																
	平均患者数	人/日	532	517	97.2%																																																																
	診療額	百万円	14,687	14,759	100.5%																																																																
	診療単価	円/日	75,659	77,948	103.0%																																																																
	在院日数	日	12.2	11.7	95.9%																																																																
	病床利用率	%	90.1	87.7	97.3%																																																																

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
		<p><b>3 総合入院体制加算として退院時の開業医への紹介率等の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（I）の加算を算定する退院患者数及び治癒し通院の必要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数のうち、4割以上であること」（退院時加算 40%以上）を達成することができた。</li> </ul> <p>○紹介率・逆紹介率等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（単位：％）</td> <td>64.2</td> <td>63.4</td> <td>64.1</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数（単位：件）</td> <td>15,079</td> <td>15,717</td> <td>16,440</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（単位：％）</td> <td>78.1</td> <td>83.1</td> <td>84.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数（単位：件）</td> <td>19,587</td> <td>20,587</td> <td>20,111</td> </tr> <tr> <td>退院時加算（単位：％）</td> <td>47.8</td> <td>50.1</td> <td>49.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	紹介率（単位：％）	64.2	63.4	64.1	紹介実施件数（単位：件）	15,079	15,717	16,440	逆紹介率（単位：％）	78.1	83.1	84.2	逆紹介実施件数（単位：件）	19,587	20,587	20,111	退院時加算（単位：％）	47.8	50.1	49.9			
項目/年度	H25	H26	H27																										
紹介率（単位：％）	64.2	63.4	64.1																										
紹介実施件数（単位：件）	15,079	15,717	16,440																										
逆紹介率（単位：％）	78.1	83.1	84.2																										
逆紹介実施件数（単位：件）	19,587	20,587	20,111																										
退院時加算（単位：％）	47.8	50.1	49.9																										
27	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>中期計画上の取組を確実に実施することで、業務運営の改善及び効率化を進めた。その結果、経常収支比率については 99.6%と概ね年度計画どおりとなったほか、職員給与費対医業収益比率については 48.5%と年度計画の目標を達成した。</p> <p>○経常収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>103.2</td> <td>101.6</td> <td>99.6</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率（人件費比率）</td> <td>47.4</td> <td>47.5</td> <td>48.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	経常収支比率	103.2	101.6	99.6	職員給与費対医業収益比率（人件費比率）	47.4	47.5	48.5	III		職員給与費対医業収益比率は年度計画を上回っており、経営努力が評価できる。												
項目/年度	H25	H26	H27																										
経常収支比率	103.2	101.6	99.6																										
職員給与費対医業収益比率（人件費比率）	47.4	47.5	48.5																										
28	<p><b>1 職員の就労環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の精神的な悩みなどに対して窓口を設置し、専門家による定期的な相談体制を充実するとともに、ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。</li> <li>・24 時間体制で警備員を配置し、あわせて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化する。</li> <li>・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医師事務作業補助職員や看護事務補助職員をはじめとする専門職の雇用を拡</li> </ul>	<p><b>1 職員の就労環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化し、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図っている。</li> <li>・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。</li> <li>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底し、医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を指導した。</li> <li>・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。</li> <li>・病児保育については、平成 27 年度に完成した新病棟内に、</li> </ul>	IV		職員の就労環境の向上は、提供する医療の質に直結するため、評価できる。																								

項目 No.	H27 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に進捗した取組</li> <li>・その他の主な取組</li> <li>・今後の課題・問題点 (●)</li> </ul>	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
	<p>充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設の整備について検討し、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに取り組む。</li> <li>・「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行った病児・病後児保育に関するアンケートの調査結果の意見を踏まえ、平成 28 年 3 月開設予定の新棟に設置予定である病児病後児保育所の実施やワークシェアリングなど勤務環境の改善について検討する。</li> <li>・仕事と生活をともに充実したものとするため、1 箇月単位の変形労働時間制の利点を活かし、時間外勤務時間の縮減、年次有給休暇の取得促進、代休の取得や週休日の振替の徹底等、適切な労働時間の管理の下、職員の家庭環境に配慮する。</li> </ul> <p><b>2 職員の健康管理対策の充実</b>            病院職員の健康管理のため、地方独立行政法人化前と同程度以上の健診（定期健康診断及び人間ドック）や任意検査等（各種抗体検査や予防接種等）を実施するとともに、職員の勤務状況による健康相談の実施等メンタルヘルスにも配慮した職員の健康管理対策の充実を図る。</p> <p><b>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</b>            院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、保育の質の向上や運営体制の充実を行うなど、環境整備に取り組む。また、24 時間保育を継続的に実施する。</p>	<p>病児保育室及び病後児保育室をそれぞれ設置し、平成 28 年 4 月の運営開始に向けて、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」において継続的に検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</li> <li>・勤務実態に合わせ、4 週単位から 1 月単位の変形労働時間制に変更している。また、医師やコメディカルも変形労働時間制による勤務とし、時間外勤務時間の縮減に努めている。</li> <li>・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</li> </ul> <p>○代休等取得状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>65</td> <td>46</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>1,083</td> <td>1,176</td> <td>1,445</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 職員の健康管理対策の充実</b>            ・職員の健康管理対策の充実を図った。            &lt;健康診断&gt;            &lt;任意検査等（各種抗体検査、予防接種等）&gt;            &lt;メンタルヘルス&gt;</p> <p><b>3 病児・病後児保育を含めた院内保育施設の整備及び充実</b>            ・平成 24 年 2 月 1 日から 24 時間保育の受入を開始している。            ・さらなる利便性の向上、業務の効率化を図るため、外部のノウハウを活用できる保育業務委託を平成 28 年度に実施することとし、プロポーザル方式による入札を行い、委託業者を決定した。</p> <p>○院内保育所の運営状況（年度末現在） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>33</td> <td>43</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	H25	H26	H27	代休取得	65	46	37	週休日振替	1,083	1,176	1,445	項目/年度	H25	H26	H27	入所者数	33	43	47	保育士数	10	9	10			
項目/年度	H25	H26	H27																										
代休取得	65	46	37																										
週休日振替	1,083	1,176	1,445																										
項目/年度	H25	H26	H27																										
入所者数	33	43	47																										
保育士数	10	9	10																										